



うきはテロワール

福岡県うきは市





Agenda



- 01 はじめに
- 02 うきはテロワール
- 03 うきはの歴史
- 04 おわりに



UKIHA





うえは
おはす



うきはねは



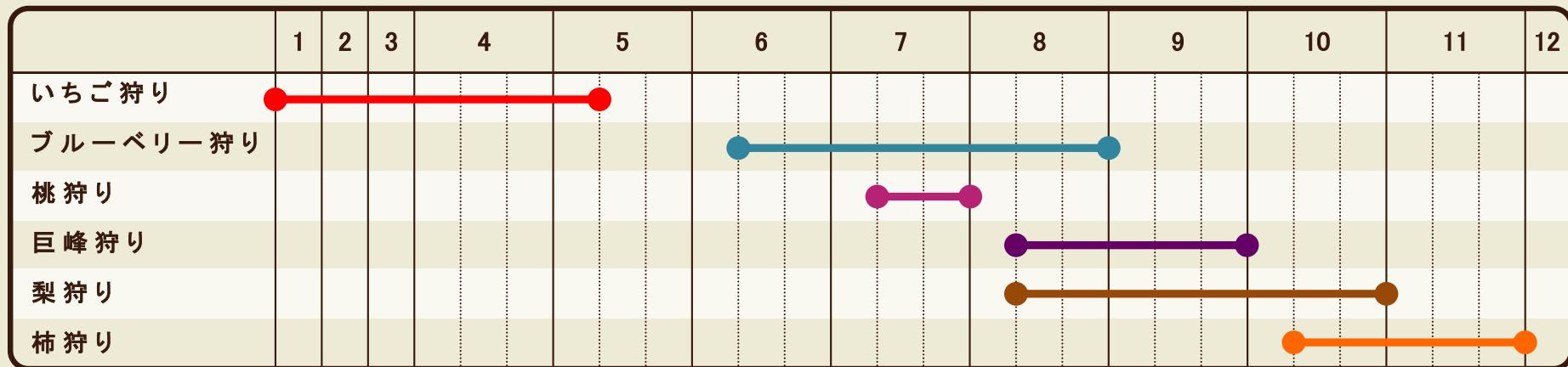
うきは・はたけ



うきは・はたけ

フルーツ王国うきはとは？

うきはのフルーツカレンダー



フルーツ品種の多さ



ぶどう

47 種類



もも

37 種類



なし

11 種類



かき

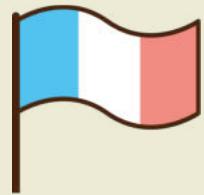
16 種類

02



うきはテロワール





テロワールとは？



地理



地勢



気候

農作物の生育地の3つの特徴を示す言葉。



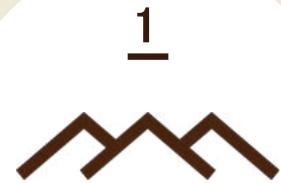
テロワール = 生育環境



Bordeaux



うきはテロワール、7 大自然要素



地形



気温



土壤



風



水



雨



地理



耳納連山と扇状地





耳納連山と扇状地



400万年前は平地

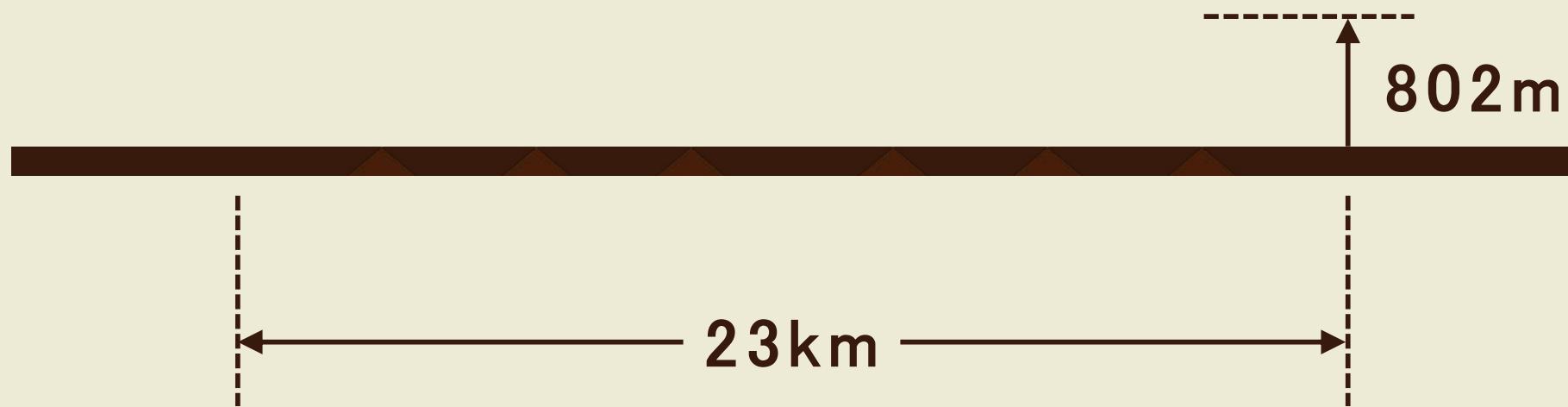
耳納活断層



耳納連山と扇状地



1.4万年ごとに地震(その度に2.8m隆起)





耳納連山と扇状地



耳納連山 = 屏風山



一直線に続く耳納連山は
台風などの被害を防いでくれる



耳納連山と扇状地

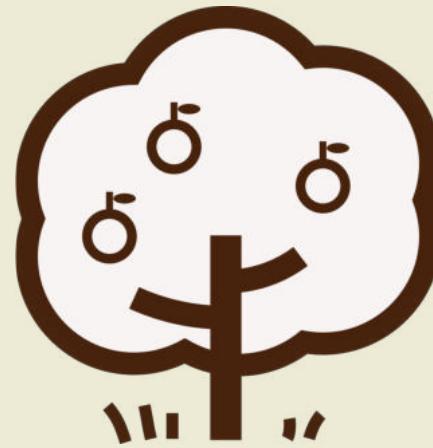
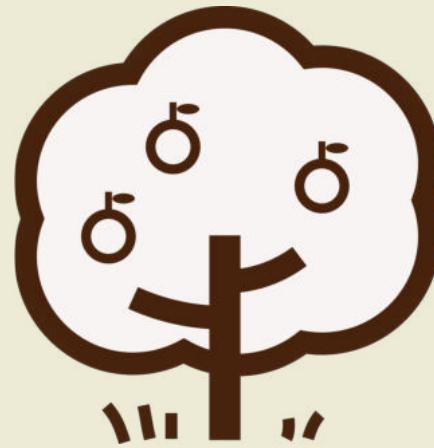
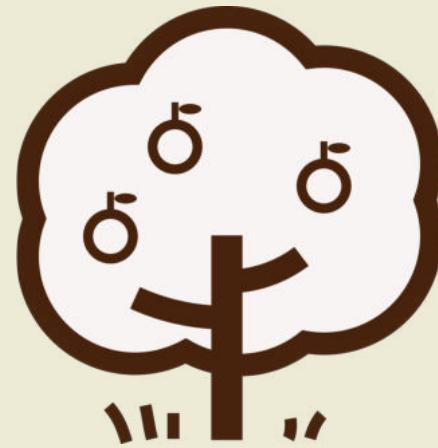




絶妙な温度バランス



フルーツ栽培で厄介な「眠り病」





絶妙な温度バランス



フルーツ栽培で厄介な「眠り病」



冬期に低温(7.2度以下)遭遇時間不足し
発芽不良を起こしてしまうこと。



2
°C

気温

絶妙な温度バランス

フルーツに必要な低温遭遇時間



ぶどう

600
時間



かき・なし

700
時間



もも

1,200
時間



うきは 1,800 時間

将来、地球温暖化が進んでも確保できる



絶妙な温度バランス



フルーツを霜害から守る逆転層





絶妙な温度バランス



フルーツを霜害から守る逆転層



逆転層による暖かい空気に包まれて、フルーツも霜の被害から守ることができます。



3



土壤

作物が健全に育つ土地



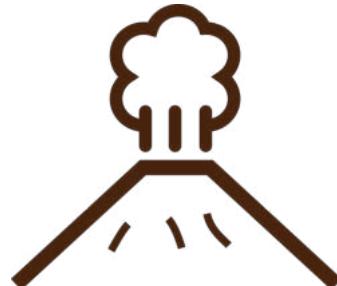


3



土壤

作物が健全に育つ土地

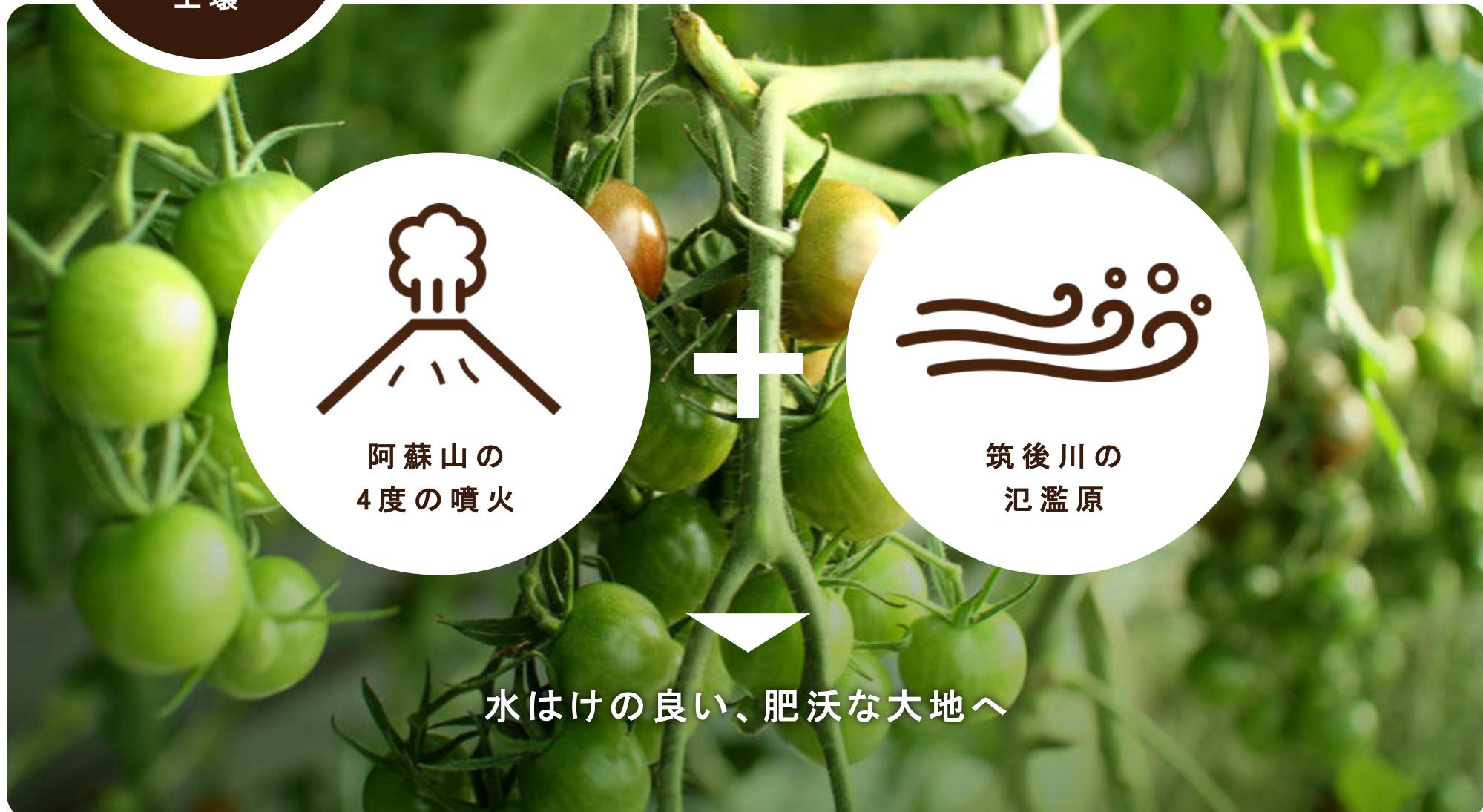


阿蘇山の
4度の噴火



筑後川の
氾濫原

水はけの良い、肥沃な大地へ





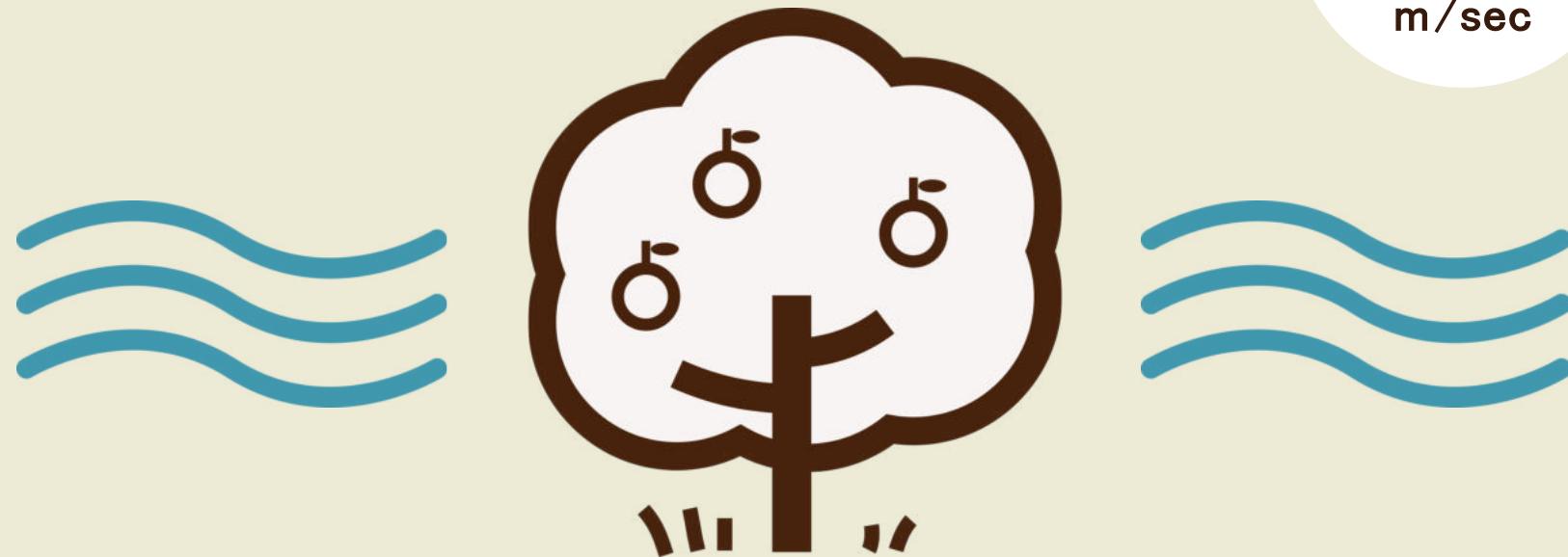
心地よい山辺のそよ風



平均風速

1
m/sec

うきは市は日本でも有数の微風地帯



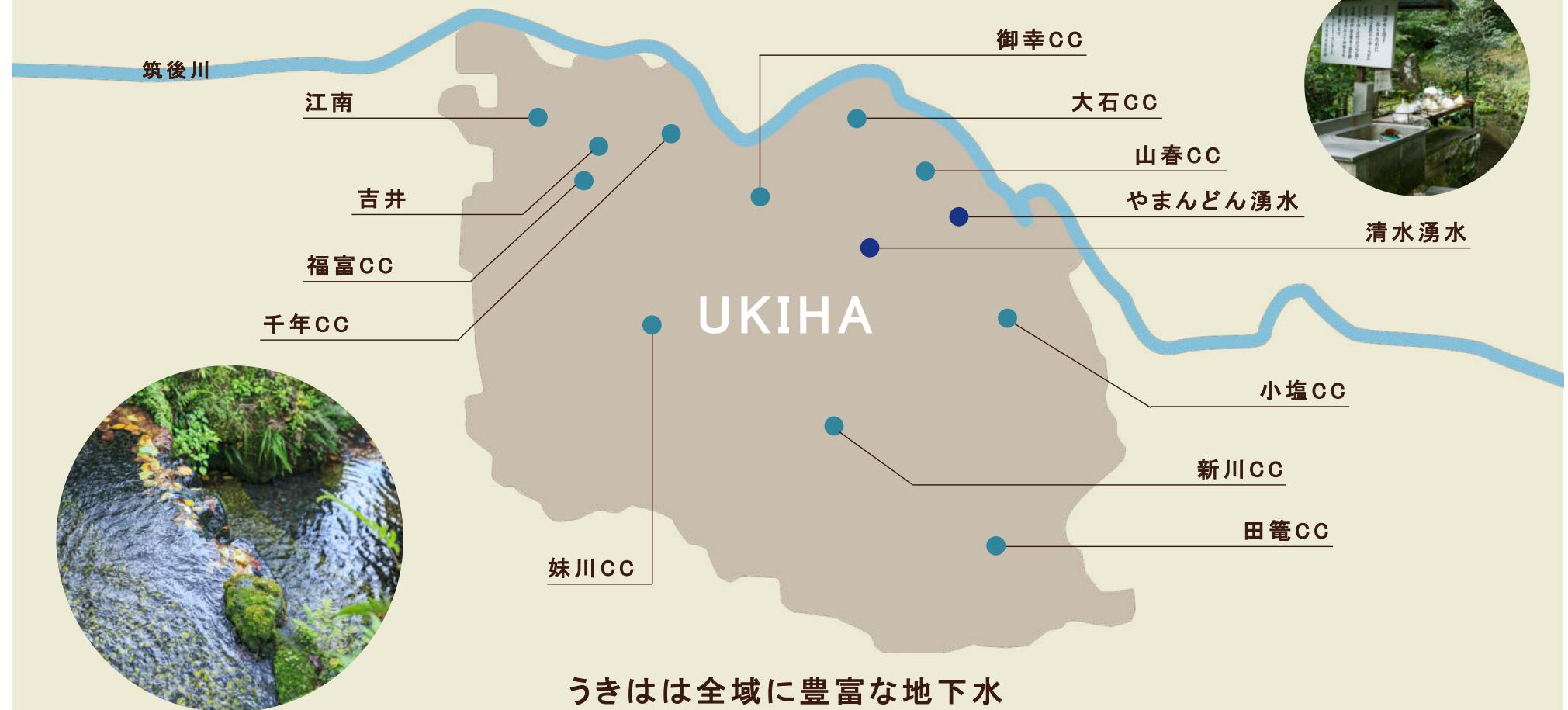
- ・光合成を最適に促進
- ・外観の綺麗な果実の肥大成長



豊富なうきはの恵水



ミネラル分を含んだうきは市の美味しい水



うきはは全域に豊富な地下水



5



水

豊富なうきはの恵水

うきは市は自然な濾過装置が整っています。



保水力をキープしているから、フルーツ栽培に適している



5



水

豊富なうきはの恵水





6
雨

雨による水分補給

8月午後の雨の日数
うきは市(妹川)

雨 / 7回

ちょうどいい！うきは市の適度な夕立

- ・果樹の水分補給と暑さの調整が可能
- ・夏場に雨が少ないと、実が小さい



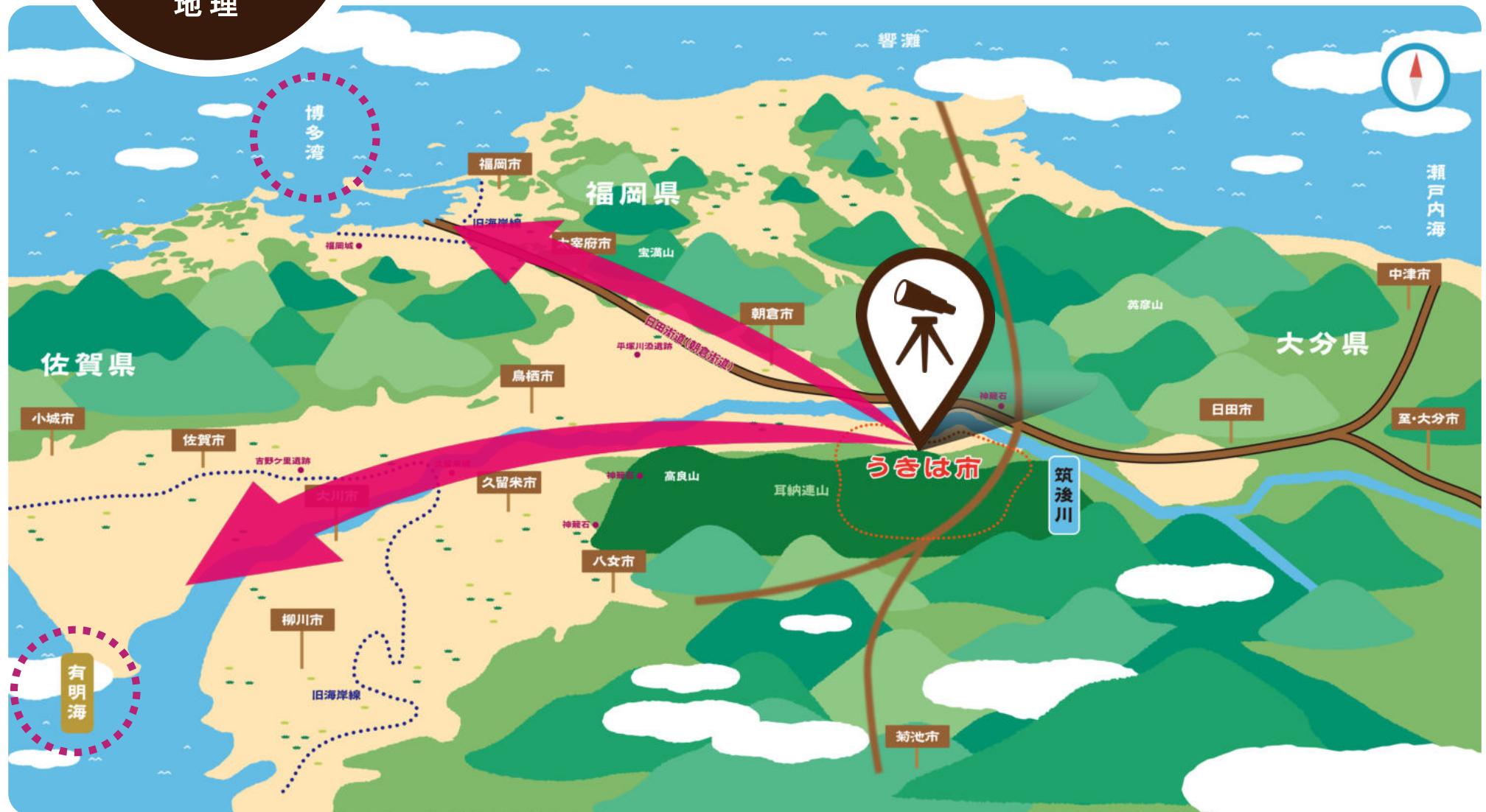
7



地理

筑紫の玄関

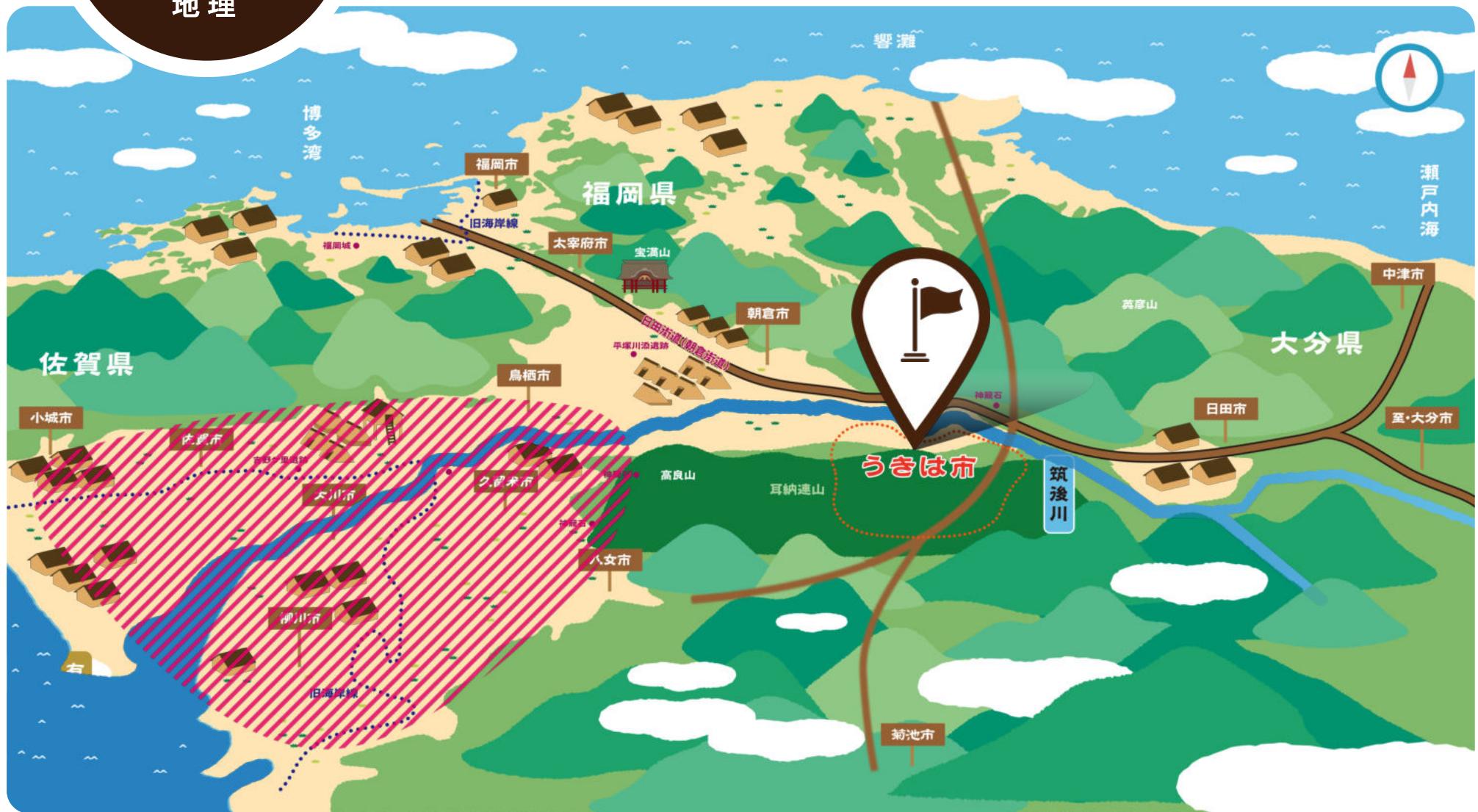
博多湾と有明海を望む
奥の院「西見台」





筑紫の玄関

筑後川が筑紫平野に流れ込む玄関口





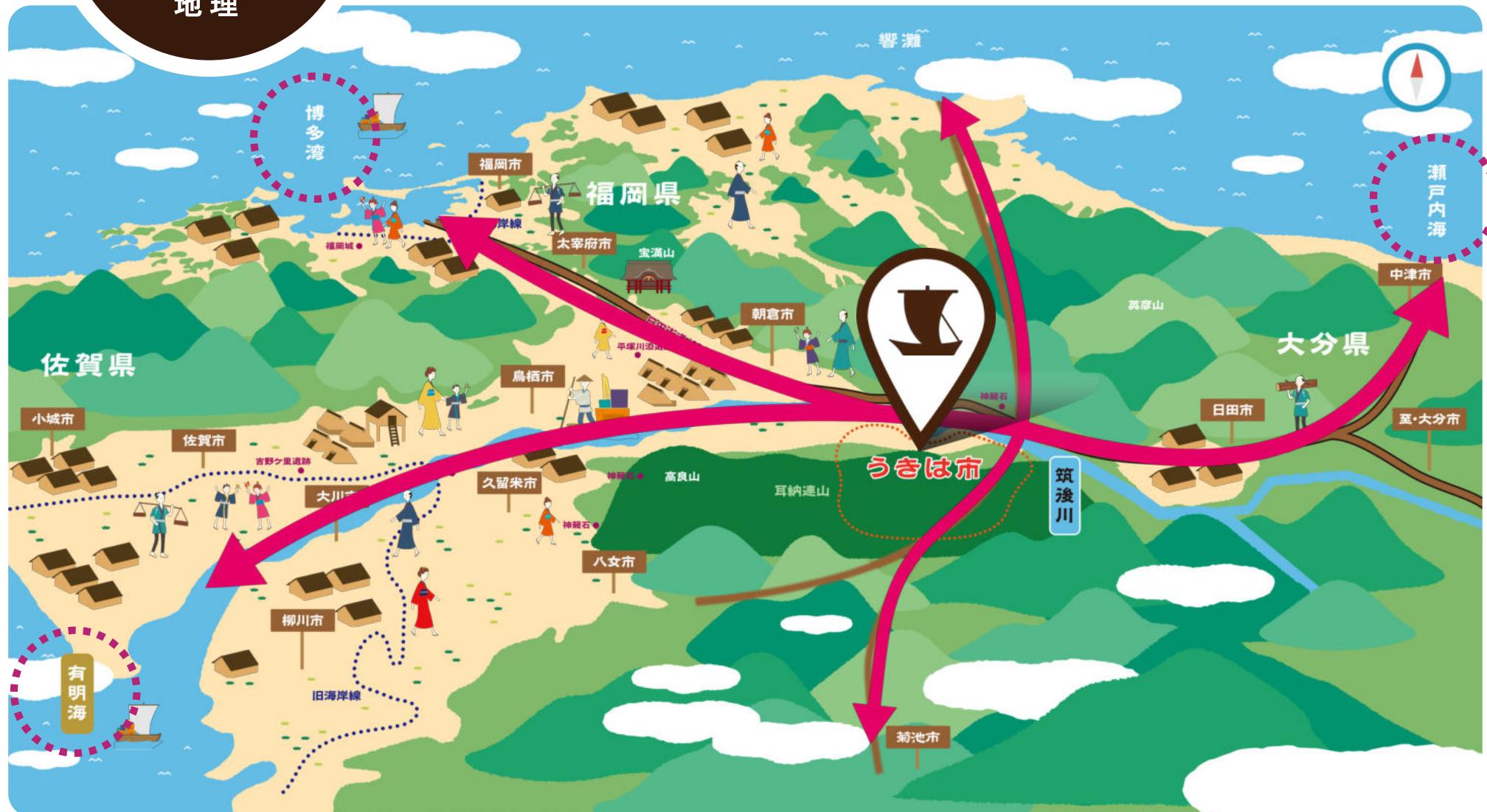
7



地理

筑紫の玄関

陸運・舟運が四方に
通ずる交通の要衝



うきはの歴史



日本書記に残る『うきは』の名前の由来

古 代

第12代景行天皇、
うきを忘れた
場所だった！





数千基の古墳が存在！

古代



国指定の装飾古墳は
73基中1割
うきは市にあった



生葉群
的(イクハ)



卑弥呼は
うきはにいた
!?

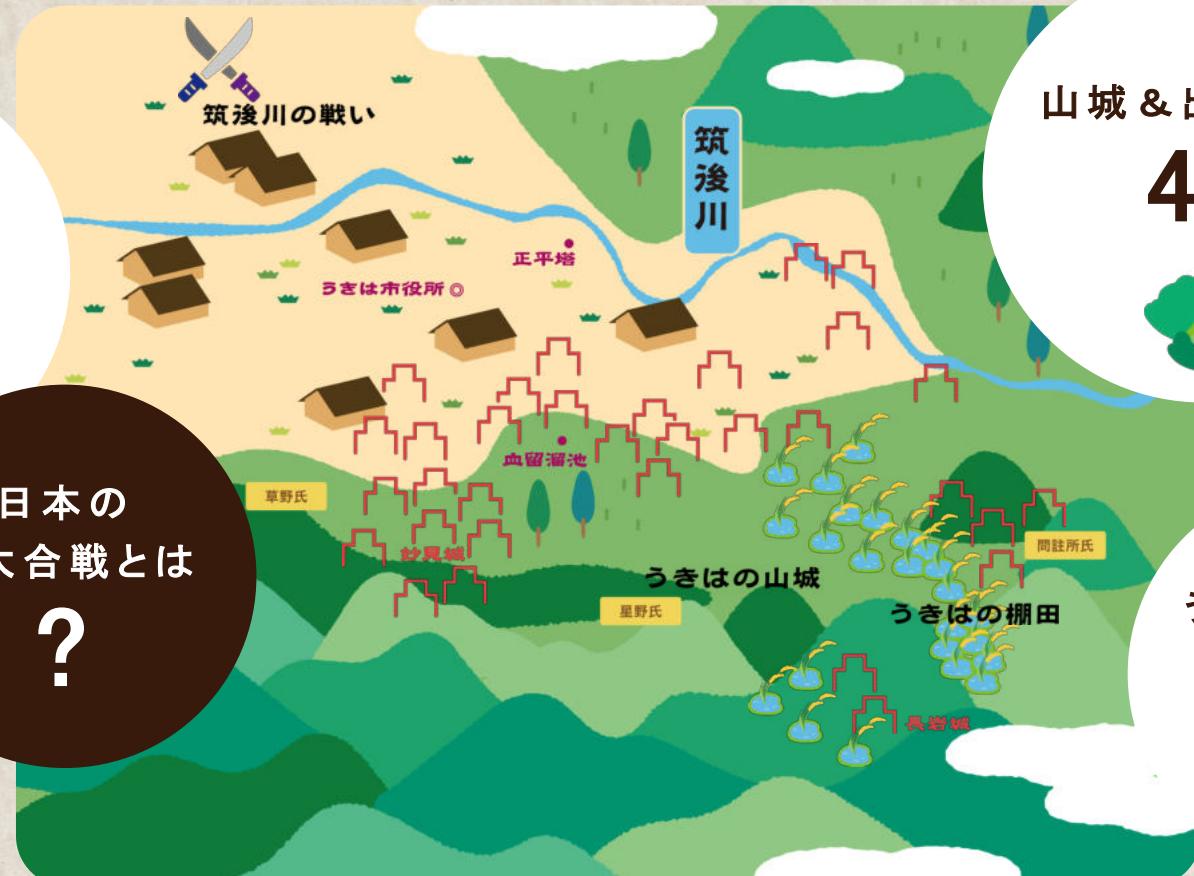


日本三大合戦の舞台に！

中世

関ヶ原の戦い
川中島の戦い
筑後川の戦い

日本の
三大合戦とは
？

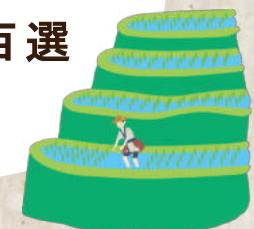


山城 & 出城の数

41



うきはの棚田は
日本の
棚田百選



太古より肥沃な土地に民が集まり栄えた『うきは』



古代
(奈良時代)

0.16%

9,600人

—
600万人



近世
(1780年頃)

0.06%

17,000人

—
3,000万人



現代
(平成27年)

0.02%

30,000人

—
1億2,700万人



先人たちが育んできた豊かな土地に自信を持って、
うきはに根を下ろし、受け継いでいきます。



うきは・はなまつし





うきはのばなし



う

う き は め た つ





うきはのはな

